

分野別
将来像

ゆるやかなつながりのなかでだれもが 多様性を認め合い自分らしく安心して暮らせるまち 調布

《将来像に込められたあるべきまちの姿》

- ・市民が気軽に集える場所や機会、情報提供の充実等を図り、市民同士がゆるやかにつながれる地域の形成を目指します。
- ・あらゆる差別や偏見がなく、すべての市民の人権が尊重され、一人ひとりが持てる力を存分に発揮しながら、自分らしく暮らせる地域社会の形成を目指します。
- ・国籍や言語等の違いを超えてすべての市民が、お互いの個性・特性を認め合い、だれもが心豊かに暮らせる共生社会の充実を図ります。

《将来像につながるキーワード》

共生社会, いろんな人, 多様なありかた, 性別や世代を超えて, 市民同士のふれ合い・つながり, ゆるいつながり, マッチング, 個性・特性を認め合う, コミュニティ

まちづくりの
方向性と
基本的取組

①市民同士がゆるやかにつながれる, 暮らしやすいまちづくり

- ◆多様な市民がふれ合える機会を増やすため、活動拠点の整備や実施プログラムの開発、運営体制の見直しなどに取り組みます。
- ◆だれもが住み慣れた地域で、安心な暮らしと活躍の場を得られるよう、様々な地域コミュニティ活動に関する情報提供の充実等により、住民のコミュニティ活動への参加のきっかけづくりを推進します。
- ◆時代に合ったコミュニケーションツールを効果的に活用しながら、市民同士がいつでも容易につながれる仕組みを構築します。

②一人ひとりの個性・特性を認め合い, だれもが安心して暮らせるまちづくり

- ◆市民一人ひとりがお互いの生き方を尊重し、心安らかに暮らすことができるよう、様々な機会をとらえ、人権意識の高揚や多様性に対する理解を深めるきっかけづくりに取り組みます。
- ◆自己の性自認・性的指向を理由とする差別や偏見、様々なハラスメント、インターネット上での人権侵害など、多様化する人権問題に適切に対応できるよう、当事者の声を受け止め、その人権を擁護するための活動を推進します。
- ◆仕事と家庭と地域生活との調和を目指すワークライフバランスの実現に向けて、市民・事業者の意識啓発を図ります。

③国籍・文化・言語等の違いを超え, だれもが共生できるまちづくり

- ◆国籍や言語等の違いを超え、外国人市民と日本人市民が互いの国の文化や生活習慣を理解し合えるよう、多文化共生・交流機会の充実を図ります。
- ◆国際交流関係団体等との連携・協力のもと、多言語による行政情報の提供や相談支援体制の充実など、外国人市民にとっても暮らしやすい環境づくりを推進します。

現状と
課題

強み(良いところ, 伸ばしたいところ)

- 色々なレイヤーのコミュニティ, また拠り所がある
- 市内で地域の問題解決のために精力的に活動している人や組織
- 市外からの転入者と市内永住者が共存
- 「参加と協働のまちづくり」を基本的な考え方としている 他

弱み(悪いところ, 改善したいところ)

- △自治会, 町内会への参加者の減少
- △地域コミュニティの構成員や参加している人の固定化
- △新規で地域コミュニティに参加するハードルが高い
- △LGBTQ に対する理解が不十分, 他

共生社会の充実

【分野別将来像（たたき台）】市民同士が多様性を認め合い、だれもが自分らしく心安らかに暮らせるまち
・コミュニティの要素が少し弱い？

【まちづくりの方向性と基本的取組】

「地域コミュニティ」「LGBTQ」「国際交流」のテーマごとにまちづくりの方向性を再編集しました。

① 多様な市民同士がつながれる、暮らしやすいまちづくり・・・「地域コミュニティ」

【これまでの議論】

- ・活動拠点の整備や実施プログラムの開発，運営体制の見直し
 - ・情報提供の充実，住民のコミュニティ活動への参加
 - ・市民同士がいつでも容易につながれる仕組みを構築
- 「デジタル技術を活用しながら市民同士がいつでも容易に繋がれるしくみ」を具体化・分解

② 一人ひとりの個性・特性を認め合い、だれもが心地よく暮らせるまちづくり・・・「LGBTQ（多様性の尊重）」＜事務局追記＞
基本構想においては、性の多様性だけでなく、人権問題として提起したい考え

【これまでの議論】

- ・お互いの生き方を尊重し，心安らかに暮らす
- ・お互いの生き方を尊重し，心安らかに暮らす

【新規要素】

- ・LGBTQに関する差別，ハラスメント，インターネット上での人権侵害への対応
- ・ワーク・ライフ・バランスの実現

③ 平和の尊さを理解しながら，すべての市民が共生できるまちづくり・・・「国際交流（多文化共生社会）・平和」＜事務局追記＞
平和のテーマの置きどころに悩んでいます。

第7回では生涯学習（歴史）に据えていたところですが，国際交流の方がわかりやすい？？他自治体の例などからも国際交流とセットにしがち。

※「平和の尊さ」に関する表現について、「理解」としてはありますが，これまでも様々な意見があった中で，別案として提案するものです。違和感等あればご意見おねがいします。

【これまでの議論】

- ・戦争の悲惨さや平和の尊さを風化させず，若い世代に着実に引き継ぐ
- ・市内に残る戦争史跡や戦争の体験談を適切に記録・保存
- ・平和の尊さを自分ごととして学べる機会の充実

【新規要素】

- ・これまで国際交流と多様性の尊重を一括りにしていたため，改めて国際交流を頭出し

分野別
将来像

世代や障害の有無等に関わらず、スポーツに親しめる機会を創出し、 だれもが生涯にわたって生き活きと暮らせるまち 調布

《将来像に込められたあるべきまちの姿》

- ・それぞれのライフスタイルや健康課題に応じて、だれもが気軽にスポーツに親しめる機会や環境の創出・普及拡大を目指します。
- ・市内にあるスポーツ資源の積極的活用や国際的なスポーツ大会の開催地としてのレガシーの継承により、スポーツ人口の増加を目指します。
- ・既存施設の修繕・改修や設備機器の更新を計画的に推進し、だれもが快適かつ安全にスポーツを楽しめるまちを目指します。

《将来像につながるキーワード》

活力のある、だれもが、健康に暮らす、気軽に運動できる、多様な主体との連携、スポーツにふれやすい機会の創出、インクルーシブ

まちづくりの
方向性と
基本的取組

①あらゆる市民が気軽に運動できる機会の充実

- ◆市民の身体面や精神面での健康の保持増進や健康寿命の延伸にも結びつくよう、一人ひとりのライフステージやライフスタイルに応じてスポーツに取り組める機会の充実を図ります。
- ◆市民が気軽にスポーツを楽しみながら交流を深められるよう、多様な市民が参加できる各種スポーツイベントの充実を図ります。
- ◆スポーツ関係団体と連携した取組を推進するほか、スポーツを支える新たな人材の育成・確保に努めます。

②安全・安心かつ快適にスポーツを楽しめる環境の充実

- ◆既存スポーツ施設の機能の維持・向上を図るため、老朽化の度合いに応じた改修・修繕や設備機器の更新を計画的に推進します。
- ◆市民が身近な場所で、気軽にスポーツを楽しむことができるよう、日常的に利用できる施設としての利便性向上や、効果的で効率的な維持管理・運営及び情報提供に努めます。
- ◆利用者のニーズを踏まえながら、既存スポーツ施設のバリアフリー化等のインクルーシブな施設改修を推進します。

③スポーツに対する関心を喚起するための取組の推進

- ◆プロスポーツチームや個人など、多様な主体との連携・協力により、より多くの市民がスポーツに関心を持ち、スポーツに親しめる機会の創出を図ります。
- ◆国際的なスポーツ大会の開催地としてのレガシーを継承しながら、様々なかたちで市民がスポーツに携わることができる機会の創出を図ります。
- ◆日頃スポーツをしていない市民も気軽にスポーツに取り組めるよう、スポーツに関する情報の速やかで効果的な情報提供に努めます。

現状と
課題

強み(良いところ, 伸ばしたいところ)	弱み(悪いところ, 改善したいところ)
<ul style="list-style-type: none"> ○味の素スタジアムや武蔵野の森総合スポーツプラザをはじめ、スポーツ関連施設が充実している ○プロからアマチュアまで、地域に数多くのスポーツ関係団体があり、スポーツにふれられる機会が豊富, 他 	<ul style="list-style-type: none"> △ジョギングやサイクリングなど、気軽にスポーツを楽しめるような環境 △スポーツ施設を利用するためのハードルがある △スポーツ施設の利用の仕方が知られていない △既存スポーツ施設の老朽化, 他

※斜字は、関連する個別計画等を踏まえ、事務局が追記した内容です。

【分野別将来像（たたき台）】

世代や障害の有無に関わらず、だれもがスポーツを通じ、生涯にわたって健康で生き生きと暮らせるまち

【まちづくりの方向性と基本的取組】

まとめすぎてしまっていたので、よりわかりやすくするために

「観る・する・支える機会の充実（ソフト）」「観る・する・支える環境の整備（ハード）」「ハードルを下げる」という3つの視点に分けて、まちづくりの方向性を再編集。3つの視点を総合して、「気軽」「身近」感を出していきたい

① 多種多様なニーズに応じ、気軽に運動できる機会の充実・・・「ソフト」

【これまでの議論】

- ・健康づくり
- ・気軽にスポーツを楽しめる スポーツイベント

【新規要素】

- ・スポーツを支える人材
※ラグビー、オリ・パラレガシー 市民ボランティアをはじめとする市民の協力、参加による機運醸成、大会の盛り上げ

② 安全・安心かつ快適にスポーツを楽しめる環境の充実・・・「ハード」＜事務局追記＞

まちづくりの方向として、ハード面の整備を追記（強み・弱みで議論はしていたものの、反映されていなかった）。

【新規要素】

※施設整備の要素

- ・スポーツ施設の計画的な維持保全
- ・管理運営
- ・バリアフリー対応

③スポーツに対する関心を喚起するための取組の推進

【これまでの議論】

- ・プロスポーツチームや個人など、多様な主体との連携・協力 多くの市民がスポーツに関心を持ち、スポーツに親しめる機会の創出
- ・様々なかたちで市民がスポーツに携わることができる機会の創出

【新規要素】

- ・レガシーの継承
- ・情報発信

多世代が生涯を通して学び合い、

・心の豊かさが育まれるまち 調布
 ・(活気が生まれる)まち 調布

分野別
将来像

《将来像に込められたあるべきまちの姿》

- ・だれもが自由に学べる学習機会の提供や学習環境の充実により、市民が主体的に学ぶきっかけが生まれるまちを目指します。
- ・市民同士が学び合い、交流を深めながら、より良い地域社会の実現に向けて学びの成果を活かせるまちを目指します。
- ・既存施設の修繕・改修や設備機器の更新を計画的に推進し、だれもが快適かつ安全な環境のもとで学び合えるまちを目指します。

《将来像につながるキーワード》

だれもが参加しやすい環境、生涯を通して学べる、自由に学べる、生きがいを感じられる、一人ひとりの知識や経験を活かせる、自主性

まちづくりの
方向性と
基本的取組

①多世代が自由に学び合える機会を

- ◆多世代が自由に学べる機会を創出するため、情報機器を活用したオンラインによる学習機会の提供など、デジタル技術を活用し、場所的・時間的な制約を受けずに、いつでも、どこでも学習できる環境づくりを推進します。
- ◆一人ひとりの知識や経験を活かせる場を構築し、市民同士が教え、学べる機会を拡充します。
- ◆若者や働く世代など、日頃、生涯学習への参加が少ない市民の学習に対する興味関心を高め、自主的な学習活動の実践へとつながるよう、生涯学習の普及啓発やきっかけづくりとなるイベントの実施など、多様なきっかけづくりに努めます。

②学びを通じた交流促進や学びの成果を活かす機会の推進

- ◆市民の学習意欲の向上や、学習を通じた交流を促進するため、学習活動の様々な成果に関する発表機会の充実を図ります。
- ◆市民と行政が協働で実施する生涯学習に関するイベント等を支援するとともに、様々な市民が主体となったまちづくり活動を支援し、学習の成果をより良い地域社会の形成へとつなげていきます。
- ◆Web サイト「生涯学習情報コーナー」の活用や生涯学習に係る人材情報の収集・提供を積極的に行うことで、学習の成果をまちづくりに活かす機会の確保に努めます。

③安全・安心かつ快適に学べる環境の充実

- ◆既存学習施設の機能の維持・向上を図るため、施設のバリアフリー化や老朽化の度合いに応じた改修・修繕、設備機器の更新を計画的に推進します。
- ◆より多くの市民が身近な場所で、気軽に学習に取り組むことができるよう、既存学習施設の利便性向上や効果的で効率的な維持管理・運営に努めます。
- ◆デジタル技術の進展に対応した学習活動を支援するため、必要な環境の整備を推進します。

強み(良いところ、伸ばしたいところ)

- 色々な人たちが参加できるプログラムが、行政や民間から提供されている
- 生涯学習の機会が多い
- 様々な職業の経験・能力を持つ方が在住しており、その方々の経験・労力を引き出すことができる、他

弱み(悪いところ、改善したいところ)

- △生涯学習・サークルへの参加のハードルが高い
- △学習活動に参加するための連絡方法が電話やメールしかない
- △生涯学習に関する広報が不十分
- △学習成果のまちづくりへの活用が不十分、他

現状と
課題

生涯学習

【分野別将来像（たたき台）】

多世代が生涯を通じて学び合い、充実した暮らしを送ることができるまち

【まちづくりの方向性と基本的取組】

これまでの議論に加えて、個別計画を踏まえたまちづくりの方向性と、デジタル技術の活用を含めた施設整備（環境整備）を追加しました。

① 多世代が自由に学び合える機会の充実

【これまでの議論】

- ・多世代が自由に学べる
- ・デジタル技術を活用し、場所的・時間的な制約を受けずに、いつでも、どこでも学習できる
- ・一人ひとりの知識や経験を活かせる場
- ・きっかけづくり

【新規要素】

- ・個別計画の要素追加

② 学びを通じた交流促進や学びの成果を活かす機会の推進

【これまでの議論】

- ・生涯学習の取組が地域コミュニティにもつながる・・・まちづくりの方向性に「学びを通じた交流促進」。基本的取組に加えるか？

【新規要素】

- ・個別計画の要素追加

③ 安全・安心かつ快適に学べる環境の充実

【新規要素】

- ※施設整備・デジタル技術の活用
- ・施設の計画的な維持管理
- ・施設の利便性向上
- ・デジタル化にむけた環境整備

分野別
将来像

市民が郷土に深い愛着を持ち、 地域の芸術や歴史文化を発展させ、未来に繋いでいくまち 調布

《将来像に込められたあるべきまちの姿》

- ・地域の有形・無形の文化的資源を大切に守り・活かし、多くの市民が郷土の歴史や伝統文化への理解や愛着を深められるまちを目指します。
- ・市民同士のつながりや地域コミュニティの醸成にも結びつくよう、市民主体の芸術・文化活動が盛んなまちを目指します。
- ・幅広い世代の市民が様々な芸術・文化について学び、優れた芸術・文化にふれられる機会が充実したまちを目指します。
- ・戦争の悲惨さや平和の尊さを風化させず、平和な暮らしを未来に繋ぎます。

《将来像につながるキーワード》

未来に受け継ぐ、まちに愛着を持てる、魅力を伝える、見る・知るだけではなく学び・ふれられる機会

まちづくりの
方向性と
基本的取組

①歴史文化や平和の尊さに触れられる環境や機会の充実

- ◆地域の歴史文化を後世に受け継ぐため、体験できる場や機会の充実を図るとともに、情報収集と効果的な発信に取り組みます。
- ◆戦争の悲惨さや平和の尊さを風化させず、若い世代に着実に引き継ぐため、市内に残る戦争史跡や戦争の体験談を適切に記録・保存するとともに、これらを活用して平和の尊さを自分ごととして学べる機会の充実を図ります。
- ◆幅広い世代の郷土愛の醸成や観光振興にも結びつくよう、地域固有の歴史的・文化的資源が適切に保存・管理されるよう支援するとともに、積極的な公開や活用を図ります。

②市民主体の芸術・文化活動の振興

- ◆だれもが芸術・文化に興味関心を持つことができるよう、芸術・文化を見る・知るだけではなく、体験できる場や機会の充実を図ります。
- ◆人と人とのつながりや地域コミュニティの活性化にも結びつくよう、多様な主体が自主的に芸術・文化活動に取り組める環境づくりを推進するとともに、発表機会の充実を図ります。
- ◆市民の自主的・自発的な芸術・文化活動を促進するため、芸術・文化団体の活動に対する支援や指導者の育成・確保を図ります。

③市民が芸術や歴史文化とふれ合える環境の充実

- ◆芸術・歴史文化に係る施設機能の維持・向上、整備を図ります。
- ◆だれもが芸術や歴史文化により高い興味関心を持つことができるよう、デジタル技術を効果的に活用しながら、場所的・時間的な制約を受けずに、いつでも、どこでも気軽に芸術や歴史文化を鑑賞できる環境づくりを推進します。
- ◆利用者のニーズを踏まえながら、芸術・歴史文化に係る施設のバリアフリー化や多言語対応等インクルーシブな施設改修を推進します。

現状と
課題

強み(良いところ, 伸ばしたいところ)	弱み(悪いところ, 改善したいところ)
<ul style="list-style-type: none"> ○たづくり・グリーンホール・仙川劇場等の施設が豊富 ○神社仏閣等の歴史的文化財が多い ○文化活動が活発に行われている ○グリーンホールや駅前広場での催しが活発, 他 	<ul style="list-style-type: none"> △市内の文化財にふれる機会が少ない △子どもが文化芸術を体験するための機会が少ない △歴史的文化財及びその良さが市内外の人々に認知されていない △多様な文化イベントの周知方法が、時代のニーズに合っていない, 他

※斜字は、関連する個別計画等を踏まえ、事務局が追記した内容です。

芸術・歴史文化

【分野別将来像（たたき台）】

地域固有の芸術や歴史文化を未来に紡ぎ、幅広い世代が調布に深い愛着を持てるまち

【まちづくりの方向性と基本的取組】

「歴史文化財の維持保全と活用」「芸術・文化活動の振興」「芸術歴史文化とふれ合える機会の充実」の3つに分けました。

① 芸術や歴史文化の大切に守り・活かすための取組の充実

【これまでの議論】

- ・芸術や歴史文化を見る・知るだけではなく、体験できる場や機会等の充実
- ・地域固有の芸術や歴史文化を後世に受け継ぐ
- ・郷土愛の醸成や観光振興にも結びつく

② 地域主体の芸術・文化活動の振興

【これまでの議論】

- ・誰もが芸術や歴史文化に興味関心を持つことができる 体験学習の機会の充実

【新規要素】

- ※従来から取り組んでいる、市内団体等への支援や連携・協力、魅力発信の要素
- ・各団体の活動支援や、活動に取り組める環境の整備

③ 市民が芸術や歴史文化とふれ合える機会の充実

【これまでの議論】

- ・誰もが芸術や歴史文化に興味関心を持つことができる デジタル技術を効果的に活用 いつでも、どこでも気軽に

【新規要素】

※関係機関との連携・協力、魅力発信の要素

- ・様々な媒体を活用した情報提供の充実
- ・関係機関との連携・協力

分野別
将来像

・いろいろな人がチャレンジできる環境を創出し、
 多くの人々の好奇心を刺激する魅力と賑わいに満ちあふれたまち 調布
 ・だれもがわくわくするような魅力にあふれ、
 多くの人々のチャレンジが持続的に発展するまち 調布

《将来像に込められたあるべきまちの姿》

- ・さまざまな分野におけるチャレンジを応援し、活発な経済活動が持続的に循環し、発展していくまちを目指します。
- ・人や組織の新たな取組により多様な価値が創出され、市民がわくわくする魅力あふれるまちを目指します。
- ・市内外に向けてさまざまな地域資源の魅力を効果的にPRすることで、より多くの人々に調布の素晴らしさを伝えます。

《将来像につながるキーワード》

チャレンジを応援、地域資源の活用、調布ならではの魅力、経済が循環する持続可能なまち、新たな価値の共創、賑わい、市民がわくわくする魅力

まちづくりの
方向性と
基本的取組

①将来にわたって持続可能な農業を支えるまちづくり(農業)	②創業・起業等のチャレンジを応援するまちづくり(創業・起業)	③既存企業の経営の革新を支えるまちづくり(既存企業)	④地域資源を活用した賑わいのあるまちづくり(観光)
<ul style="list-style-type: none"> ◆農業を守り、地産地消を推進するため、大学や企業など多様な主体と連携しながら地元農家が農作物を生産し続けられるシステムを構築するとともに市内農業について知ることのできる機会の充実を図ります。 ◆農地を保全するため、農業ボランティアの活用や新規農業従事者の育成等による農業への支援体制の充実を図ります。 ◆NPO や市民団体等との連携・協力により、市民が自然を学ぶ場、土とふれ合う場として、学童農園や農業公園の整備を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆多くの人財や企業・団体などが集い、支え合いながら、よりよい未来に向けて発展していくまちにするため、企業・投資誘致や創業支援などの新たなチャレンジを応援する取組や、産学官民の連携をさらに充実させ、新たな価値を共創する取組を促進する。 ◆市内の企業や大学、業種を超えた中小企業間の交流機会の充実を図り、経済発展と様々な社会的な課題の解決を両立できる新たなビジネスモデルの構築を促進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆観光施策とも連携を図りながら、より多くの人々が市内で買い物や食事を楽しむことができるよう、商店街の活性化を支援します。 ◆経営者の高齢化や後継者不足等により、事業の継承に課題を抱えている事業者への相談支援体制の充実を図ります。 ◆経営効率化を図るため、DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進に取り組む既存企業を支援します。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆より多くの人々を引き込めるよう、観光と飲食の連携、スポーツや映画等を活かした市内外のだれもがわくわくするイベントの開催、調布ならではの土産物など、既存の地域資源をさらに磨き上げ、その魅力を効果的に情報発信します。 ◆市民と共に、より多くの人々の好奇心を刺激し、魅了できる新たな地域資源を掘り起こし、その地域ならではの魅力を発信することで、まちの魅力の向上やまちの賑わい創出に取り組むとともに、市民の誇りと愛着を深めることに繋がります。

現状と
課題

強み(良いところ, 伸ばしたいところ)	弱み(悪いところ, 改善したいところ)
<ul style="list-style-type: none"> ○市民農園や農業体験など、市民と農業をつなぐ取組が豊富 ○個人商店(飲食店)が残っており、街の色として楽しめる ○観光資源が豊富(鬼太郎, 映画のまち, 武者小路実篤など) ○文化資産が多い(神社仏閣, スポーツ施設等), 他 	<ul style="list-style-type: none"> △農地を手放す人や荒廃農地の増加 △起業にチャレンジしやすい文化づくり △市の資源として、市内民間企業の活用や連携を行う余地がある △それぞれの目的で調布に訪れた人が、他の資源を活用していない、他

※斜字は、関連する個別計画等を踏まえ、事務局が追記した内容です。

【分野別将来像（たたき台）】

活発な地域活動が持続的に展開され、多くの人々を引き込む魅力と賑わいに満ちあふれたまち

※ これまで単独で検討していた「観光」を含めた4分野で、分野別将来像を検討しました
賑わい・魅力が地域経済の発展だけでなく、観光にも関係するため

【まちづくりの方向性と基本的取組】

① 将来にわたって持続可能な農業を支えるまちづくり（農業）

【これまでの議論】

- ・地元農家が農作物を生産し続けられるシステムを構築 市内農業について知ることのできる機会の充実
- ・農業ボランティアの活用や新規農業従事者の育成 農業への支援体制
- ・市民が自然を学ぶ場、土とふれ合う

② 創業・起業等のチャレンジを応援するまちづくり

【これまでの議論】

- ・チャレンジを応援する取組 産学官民の連携 価値を共創する取組を促進

【新規要素】

- ・各自治体で活発化している、産学官連携による社会的課題の解決に関する要素を追加

③ 既存企業の経営の安定化を支えるまちづくり

【これまでの議論】

- ・商店街の活性化を支援 ※地域の商店とのつながり などの意見から一般化
- ・相談支援体制の充実

【新規要素】

- ・従来からの、既存事業者に対する事業継続の支援要素に加えて、DX推進支援などの要素を追加

④ 地域資源を活用した賑わいのあるまちづくり

【これまでの議論】

- ・市内外のだれもがわくわくするイベントの開催 土産物 既存の地域資源をさらに磨き上げ
- ・多くの人々の好奇心を刺激 新たな地域資源を掘り起こし 市民の誇りと愛着を深める